

津波から命を守る防災教育の実践と情報伝達方法の改善

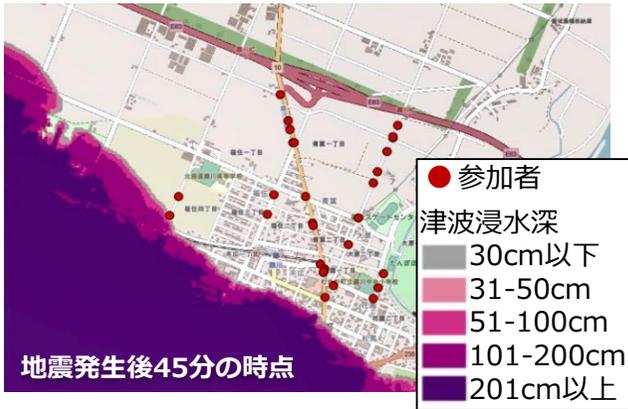
背景

津波から命を守るためには、防災教育による避難の迅速化と防災スピーカによる適切な情報伝達が重要である。

成果

1 津波避難訓練と効果的な防災教育の実践

訓練参加者の移動軌跡と津波遡上の分析



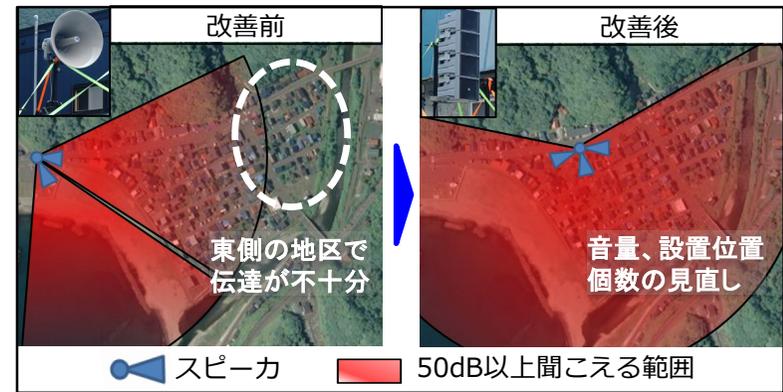
訓練結果を研修会・動画配信等で発信し住民へフィードバック



むかわ町の防災対策に反映

2 防災スピーカの伝達範囲の改善

実測と数値解析により防災スピーカの設置位置等を見直し伝達範囲を大幅に改善



神恵内村の防災庁舎整備に反映



道総研の知見と研究成果を活かした住民対象の避難訓練の実施 (むかわ町)

期待される効果

道内市町村の防災教育および防災スピーカの整備・運用で活用され、地域の防災対策に貢献。

(協力機関：北海道総務部危機対策局危機対策課、北海学園大学、(財)小林理学研究所、道内自治体)